

県営 農村地域防災減災事業（ため池整備）

岩田池地区

令和元年度竣工



富山県高岡農林振興センター



小 矢 部 市



小 矢 部 市 土 地 改 良 区

水と土をつなぐ
地域づくり

（令和2年3月発行）

1. 改修の経緯

岩田池は小矢部市街地より南西に位置し、一級河川砺波川支流により、明治以前に築造され、昭和 47 年に全面改修が行われている。堤体に目立った変形等は見られないものの、近年堤体下流中段付近にパイピング孔と思われる直径約 1.0m の陥没穴が見つかった。また、改修後 44 年が経過し、洪水吐や底樋等のコンクリート構造物は劣化が進んでおり、漏水により背面土が吸い出されて陥没が発生している箇所も見られる。したがって、今後堤体の変形が増大し安定性を損なう可能性が極めて高く、早急にため池堤体及び付帯施設の改修を行う必要があった。

このため、平成 28 年度に県営農村地域防災減災事業（ため池整備）として着手し、令和元年度に完了した。

本事業のため池改修は、災害の発生を未然に防止するとともに、安定的な農業経営を確保することを目的に実施された。

【改修前のため池状況】



陥没漏水状況 (H19)
堤体右岸側の洪水吐横



堤体状況（左岸側より望む）
遮水シート及び洪水吐

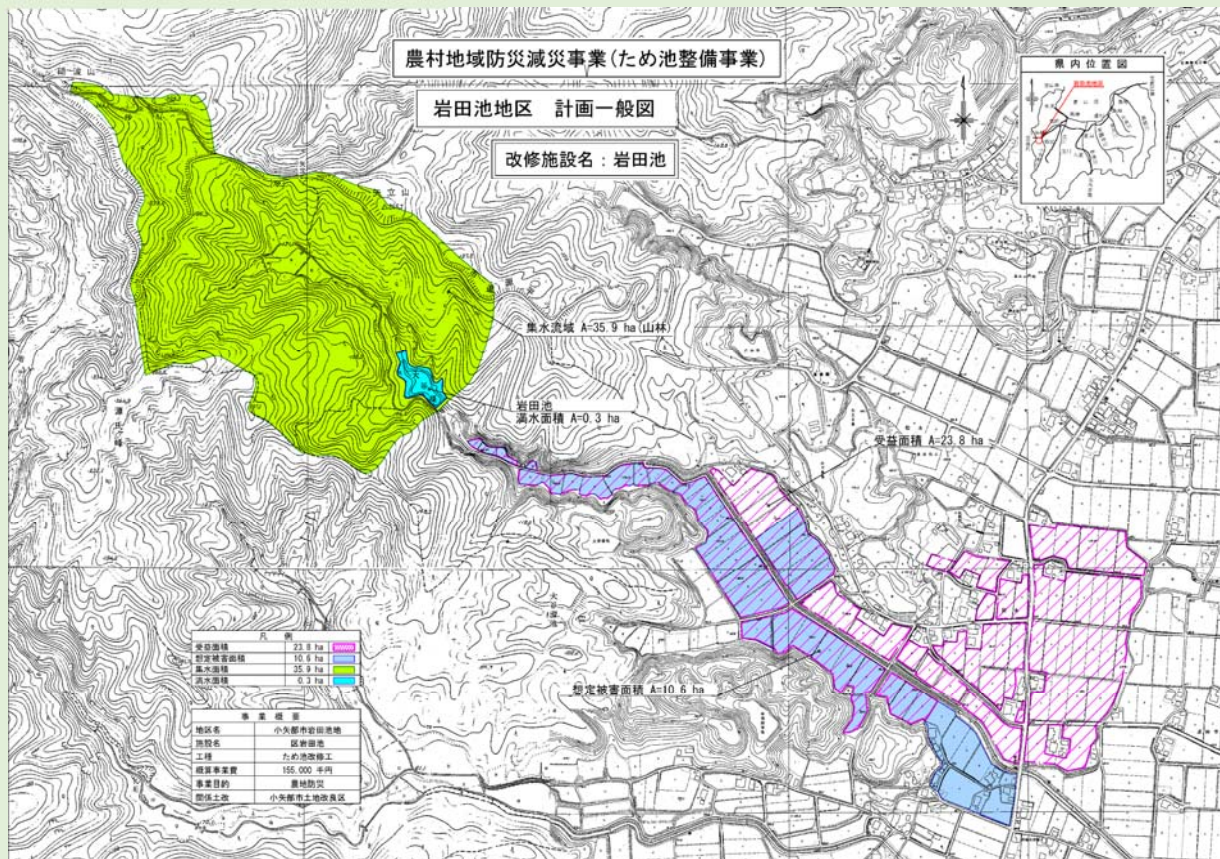


洪水吐状況（堤体上流望む）
洪水吐及び堤体



取水施設状況（右岸側より望む）
斜樋への管理用歩廊

2. 位置図及び受益範囲

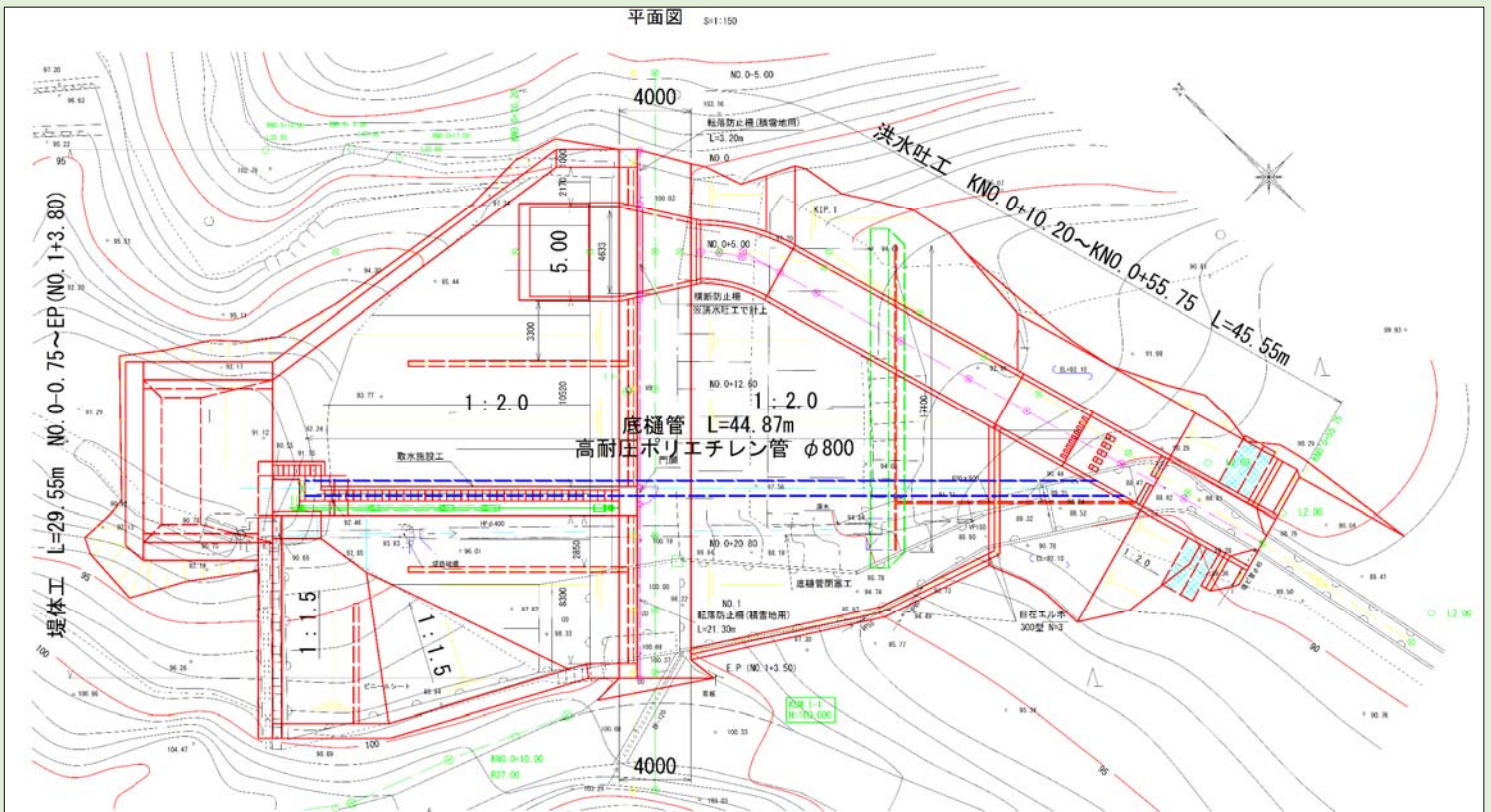


3. 計画概要及び計画図

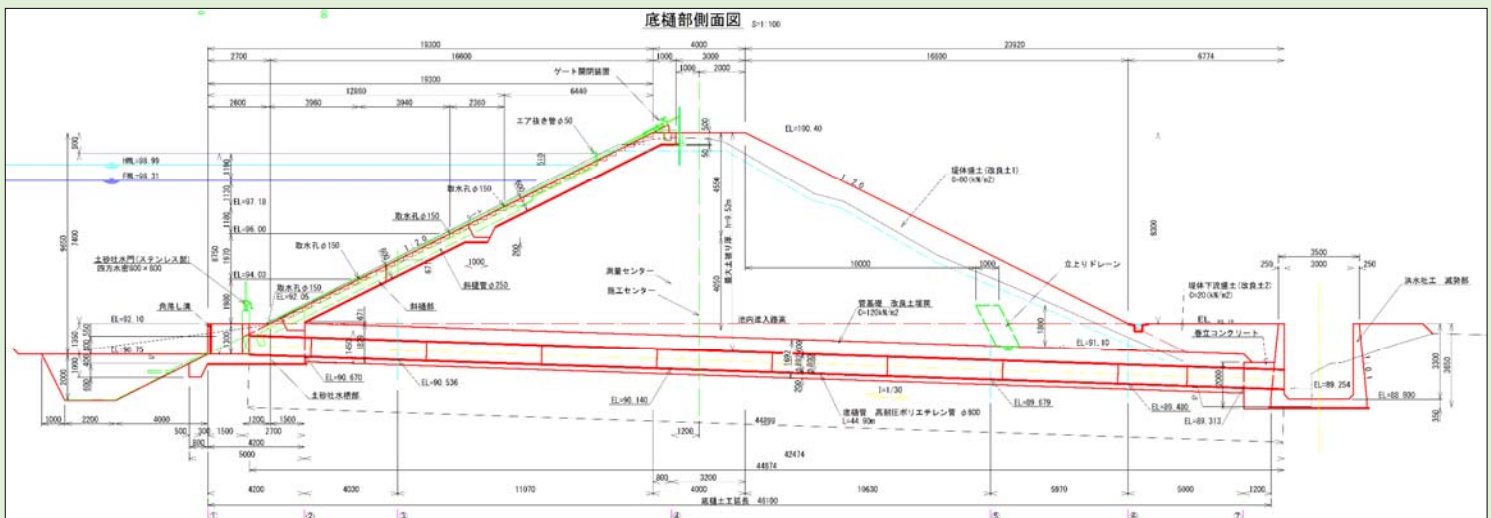
ため池計画概要

項目	内容
堤体	型式：表面遮水型（遮水シート（塩ビ）、布製型枠） 堤高 9.65m 堤頂幅 4.0m 堤長 29.55m 貯水深 7.56m
洪水吐	型式：正面越流堰型 延長 45.55m 洪水量 5.89m ³ /s
取水施設	流入部：斜樋型 鋼管巻立 導水路部：土砂吐ゲート SUS304 四方水密 800×800 底樋：高耐圧ポリエチレン管φ800 延長 44.90m
貯水量	11,200m ³
標高	堤高 100.40m 計画洪水位 98.99m 最大貯留水位 98.31m

計画平面図



横断面図



4. 事業内容

(4-1) 事業概要

項目	内 容
所在地	富山県小矢部市 松永地内
事業名及び地区名	農村地域防災減災事業（ため池整備） ^{いわたいけ} 岩田池地区
事業期間	平成28年度～平成31年度（令和元年度）
受益面積	23.8ha
事業費	155,000千円
負担割合	国55% 県35% 市10% 受益者0%
目的	^{かんがい} 灌漑
改修する施設	堤体工、洪水吐工、取水施設工（斜樋、底樋）、付帯施設
事業主体	富山県（高岡農林振興センター）
管理主体	小矢部市土地改良区（蟹谷地区委員会）
改修前の造成事業	S47 災害防止施設老朽ため池事業松永地区 事業主体：小矢部市
関係河川	1級河川 小矢部川水系 砺波川

(4-2) 工種及び事業費

工 種	内 容	事業費（円）
工事費		139,160,507
・ため池改修工	堤体工、洪水吐工、取水施設工、付帯施設工他	121,010,207
・取水施設工	取水施設（斜樋）、手摺	8,742,000
・付帯工	舗装復旧、安全施設工	9,408,300
測量試験費	土質調査、測量試験費	14,609,160
用地補償費	用地買収費、用地刈上げ、立木補償費	1,230,333
計		155,000,000

【改修後のため池状況】



堤体状況（上空より望む）
布製型枠及び洪水吐



底樋状況
土砂吐水門



取水施設状況（右岸側より望む）
巻上水門

(4-3) 事業経過

年度	内 容	備 考
平成27年度	法手続き（同意徴集）	
平成28年度	土質調査 測量設計	ヤマト地質調査(株) (株)協和
平成29年度 ～ 平成30年度	用地買収、立木補償 堤体改修工事（作業用地借上）	勢田建設(株) (株)尾山製作所
平成31年度	整備工事	相生建設(株)